

医療費を削減し、健康寿命を延ばす対策を！



富永 悦子 議員

問 レセプト（診療報酬明細書）や特定健診等の情報を活用したデータヘルス計画は、医療費の適正化と生活習慣病等の重症化予防につながる。同計画の策定状況と特定健診の受診率向上のための対策を聞きたい。

生活環境部長 同計画については、平成28年から2年間の計画案を策定し、足利市国民健康保険運営協議会から原案を了とする答申をいただいた。この計画に基づいて、特定健診の受診勧奨や受診機会の拡充などを行い、受診率向上に努めていきたい。



◆奨学金返還免除によるU・イタワンの推進

問 学生のU・イタワンを推進するため、市内企業等に就職し本市へ移住・定住する学生に対して、奨学金返還を支援する制度を導入できないか。

教育次長 御提案の制度は、若年労働者人口の増加につながり、産業の活性化や雇用・就業機会の拡大を図る上で有効と考えるが、制度設計の難しさが課題である。国、県の動向や先進自治体の効果を見据え、研究していきたい。

平成28年度予算編成について問う！



中島 由美子 議員

問 社会保障と税の一体改革の先行きへの不安が増す中、市が担うべき子育て支援等の福祉関係経費の財源が足りていないが、財政の健全運営にはどのように配慮したのか。

市長 平成28年度は市債を65億円減らすなど財政健全化のルールを堅持している。一方で福祉関係の予算は毎年右肩上がりであるが、財政の規模はふえるわけではない。選択が必要な時代であるとの認識に立って予算編成に取り組んだ。

◆映像のまち構想

問 同構想では、映像技術者の人材育成も打ち出している。多くの市民に映像のまちが浸透するよう、本市オリジナル作品の製作を期待する声を聞くが、所見を聞きたい。

市長 銀幕会議のメンバーである俳優の大地康雄さんから、足利が舞台とわかる映画をつくってみたいという趣旨の御発言をいただいた。そのような作品を通じて足利の魅力が発信されることが大切であると考えており、引き続き映像のまち構想を進める中で、オリジナルの可能性を含めた取り組みを行ってみたい。



▲銀幕会議の様子(写真中央が大地康雄さん)

老朽化した斎場の再整備を！



藤生 智弘 議員

問 斎場は昭和51年の建設から39年が経過する。老朽化が進み抜本的な対策が必要と考えるが、今後どのように再整備を進めていくのか。

市長 地元の皆様の御協力をいただき、これまで無事に運営できた経緯や、現有の市有地を有効活用するという観点などから、現在地の建てかえを軸とした斎場再整備基本構想を策定したいと考えている。現施設の耐用年数とされる平成37年度頃までには、計画的に再整備を進めていきたい。

◆都市計画道路3・4・114号本城新山線の整備

問 現在、本路線は、一般国道293号の代替道路として県により整備事業が進められている。工事に着手されていない田所町工区の事業概要について聞きたい。

都市建設部長 本工区は、延長約550m、幅員約16mで、両側に3.5mの歩道が設置され、事業費として約8億円を予定している。本路線は多くの児童・生徒が利用することから、今後とも全線の早期完成に向け、県に対し積極的に働きかけを行っていききたい。



▲都市計画道路本城新山線